月　日 名前　　／100点

【小4】国語 文章問題　物語文 4

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

学校を出ると、雨がふり出していた。朝は晴れていたので、かさを持ってきていない子が、げた箱の前にたくさん立っている。わたしは、ランドセルの横にさしていたおりたたみのかさを広げた。門を出たところで、二年生の弟が、ひとりでしょんぼり立っているのが見えた。弟は、かさを持っていなかった。

「お姉ちゃん。」

弟はわたしを見つけると、ほっとしたように走ってきた。わたしは、少しこまった。このかさは小さくて、二人で入ると、きっとどちらもぬれてしまう。それに、同じクラスの友だちが見ている前で、弟といっしょのかさに入るのは、なんだかはずかしかった。

「……入りなよ。」

わたしは、ぶっきらぼうに言って、かさを弟のほうにかたむけた。

二人で歩き出すと、思ったとおり、わたしの右のかたはすぐにぬれた。弟は、わたしの左手にぴったりくっついて、水たまりをよけながら歩いた。

家に着くと、弟は「お姉ちゃん、ぬれてる。」と言って、タオルを持ってきてくれた。弟の頭は、少しもぬれていなかった。

わたしはタオルを受け取りながら、「べつに。」と言った。ぬれたかたが、なぜだかちっとも冷たくなかった。

（この問題のための書き下ろし）

問一　弟は、わたしを見つけたとき、どんな様子でしたか。本文から十五字までで書きぬきましょう。

問二　「わたしは、少しこまった」とありますが、なぜこまったのですか。二つのわけを、四十五字までで書きましょう。

問三　「かさを弟のほうにかたむけた」から分かるわたしの気持ちとして、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　自分がぬれるのがいやで、おこっている気持ち。
イ　早く弟とわかれて、友だちと帰りたい気持ち。
ウ　口ではぶっきらぼうでも、弟をぬらしたくないというやさしい気持ち。

問四　「ぬれたかたが、なぜだかちっとも冷たくなかった」という書き方は、どんなことを表していますか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　雨が、あたたかい雨だったこと。
イ　弟がタオルを持ってきてくれたことがうれしく、心があたたかくなったこと。
ウ　タオルでふいたので、かたがすっかりかわいたこと。